

資料－３

平成２７年度第１回大阪府環境放射線評価専門委員会

大阪府

大阪府緊急時モニタリング実施要領

（暫定版）

（案）

平成２７年６月

大阪府　危機管理室

目次

[１ 目的 1](#_Toc400645486)

[２ 緊急時モニタリングの実施基準 1](#_Toc400645489)

[３ 緊急時モニタリング体制 2](#_Toc400645486)

[（１）情報収集事態](#_Toc400645490) 2

[（２）警戒事態](#_Toc400645490) 3

[（３）緊急事態及び原子力緊急事態](#_Toc400645490) 4

[４ 構成機関への連絡体制 6](#_Toc400645499)

[（１）情報収集事態 6](#_Toc400645500)

[（２）警戒事態 7](#_Toc400645501)

[（３）緊急事態及び原子力緊急事態 8](#_Toc400645502)

[５ 緊急時モニタリング用資機材等の整備 9](#_Toc400645509)

[（１）測定資機材等 9](#_Toc400645510)

[（２）防護用資機材等 10](#_Toc400645512)

[６　緊急時モニタリング等の測定項目等 11](#_Toc400645513)

[（１）空間線量率 11](#_Toc400645515)

[（２）積算線量率 11](#_Toc400645516)

[（３）大気浮遊じん中全α・全β放射能濃度 11](#_Toc400645517)

[（４）大気中放射性ヨウ素濃度 11](#_Toc400645518)

[（５）環境試料中のγ線放出核種濃度 11](#_Toc400645519)

[（６）環境試料中ウラン濃度 12](#_Toc400645518)

[（７）測定・分析方法（初動体制） 12](#_Toc400645516)

[７ 緊急時モニタリングの実施 16](#_Toc400645525)

[（１）情報収集事態における環境放射線モニタリング 16](#_Toc400645526)

[（２）警戒事態における環境放射線モニタリング 17](#_Toc400645527)

[（３）緊急事態における初期モニタリング 17](#_Toc400645527)

[（４）原子力緊急事態における初期モニタリング 18](#_Toc400645527)

[（５）原子力緊急事態における中期モニタリング 18](#_Toc400645527)

[（６）原子力緊急事態における復旧期モニタリング 18](#_Toc400645527)

[８ モニタリング要員の指示 18](#_Toc400645528)

[（１）情報収集事態 18](#_Toc400645529)

[（２）警戒事態 18](#_Toc400645529)

[（３）緊急事態及び原子力緊急事態 19](#_Toc400645529)

[９ モニタリング結果の公表 19](#_Toc400645528)

[（１）情報収集事態 19](#_Toc400645529)

[（２）警戒事態 19](#_Toc400645529)

[（３）緊急事態及び原子力緊急事態 19](#_Toc400645529)

[10 モニタリング要員の被ばく管理等 19](#_Toc400645528)

[（１）被ばく管理 19](#_Toc400645529)

[（２）被ばく管理基準 19](#_Toc400645529)

[（３）モニタリング要員の防護措置 20](#_Toc400645531)

[別図１－１　緊急時モニタリング調査予定地点（熊取町・泉佐野市域） 21](#_Toc400645533)

[別図１－２　緊急時モニタリング調査予定地点（東大阪市域） 22](#_Toc400645533)

大阪府緊急時モニタリング実施要領（暫定版）

１　目的

本要領は、「大阪府緊急時モニタリング計画（暫定版）」に基づく緊急時モニタリング体制の整備及び緊急時モニタリングの実施に関して具体的な実施内容を暫定的に定め、原子力災害時における緊急時モニタリングを迅速かつ効率的に実施することを目的とする。

２　緊急時モニタリングの実施基準

　 各緊急事態区分の実施基準（暫定版）は表１のとおりとする。

　　表１　各緊急事態区分の実施基準（暫定版）

|  |  |
| --- | --- |
| 緊急事態区分 | 実　施　基　準　（暫　定　版） |
| 情報収集事態 | ○府モニタリング施設において、10分以上又は２地点で同時に0.2 µSv/h以上の放射線量を検出したとき  ○原子力施設立地市町において震度５弱及び震度５強の地震が発生したとき |
| 警戒事態 | ○事業所敷地境界附近に設置する放射線測定設備において、10分以上１µSv/h以上の放射線量を検出した旨の通報を受信したとき  ○府モニタリング施設において、10分以上又は２地点で同時に1 µSv/h以上の放射線量を検出したとき  ○大阪府内において震度６弱以上の地震が発生したとき |
| 緊急事態 | ○発災原子力事業者からの特定事象の通報を受信したとき  ○府モニタリング施設において、10分以上又は２地点で同時に5 µSv/h以上の放射線量を検出したとき |
| 原子力  緊急事態 | ○原子力災害対策特別措置法第15条の通報に基づき、内閣総理大臣が原子力緊急事態宣言を発出したとき  ○知事が必要と認めたとき |

３　緊急時モニタリング体制

（１）情報収集事態

ア　構成機関及び派遣人数

　　　　情報収集事態に至った時に設置される初期監視体制の構成機関及び派遣人数は表２のとおりとする。

表２　初期監視体制の構成機関及び派遣人数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構　成　機　関 | | 派遣人数 |
| 大阪府 | 危機管理室 | ５ |
| 危機管理室（委託業者） | １ |
| 熊取町 | 住民部環境課 | １ |
| 泉佐野市 | 市長公室市民協働課 | １ |
| 泉州南広域消防組合 | 泉州南広域消防本部 | １ |
| 東大阪市 | 危機管理室 | １ |
| 消防局 | １ |

　　イ　各グループの要員構成

　　　　初期監視体制の各グループの要員構成は表３のとおりとする。

表３　初期監視体制の各グループの構成要員

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担　当　Ｇ | | 所　　属 | 人数 | 活動場所 |
| リーダー兼企画調整Ｇ | | 府危機管理室課長補佐 | １ | 府環境放射線  監　 視　 室 |
| 情報収集管理Ｇ | | 府危機管理室 | １ |
| 府危機管理室（委託業者） | １ |
| 測定分析Ｇ | 監視班注１ | 府危機管理室 | １ |
| 測定・採取班  （熊取町・泉佐野市域） | 府危機管理室 | １ | 熊取ＯＦＣ |
| 熊取町住民部環境課 | １ |
| 泉佐野市市長公室市民協働課 | １ |
| 泉州南広域消防本部 | １ |
| 測定・採取班  （東大阪市域） | 府危機管理室 | １ | 東大阪ＯＦＣ |
| 東大阪市危機管理室 | １ |
| 東大阪市消防局 | １ |

（２）大阪府モニタリング本部（警戒事態）

ア　構成機関及び派遣人数

警戒事態に至った時に設置される大阪府モニタリング本部の構成機関及び派遣人数は表４のとおりとする。

　　表４　大阪府モニタリング本部の構成機関及び派遣人数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構　成　機　関 | 担　当　部　署 | 派遣人数 |
| 大阪府 | 危機管理室 | ６ |
| 危機管理室（委託業者） | １ |
| 府立公衆衛生研究所 | １ |
| 熊取町 | 住民部環境課 | １ |
| 住民部美しいまちづくり推進課 | １ |
| 泉佐野市 | 市長公室市民協働課 | １ |
| 泉州南消防組合 | 泉州南広域消防本部 | １ |
| 東大阪市 | 危機管理室 | １ |
| 消防局 | １ |
| 京都大学原子炉実験所 | | なし注1 |
| 原子燃料工業（株）熊取事業所 | | なし注1 |
| 近畿大学原子力研究所 | | なし注1 |

注１　測定分析Ｇ原子力事業者チームの人数は含まない（表５参照）。

イ　各グループの要員構成

大阪府モニタリング本部の各グループの要員構成は表５のとおりとする。

表５　大阪府モニタリグ本部の各グループの構成要員

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担　当　Ｇ | | 所　　属 | 人数 | 活動場所 |
| 本部長 |  | 府危機管理室防災企画課長 | １ | 府環境放射線  監　 視　 室 |
| 副本部長 |  | 府危機管理室課長補佐 | １ |
| 企画調整Ｇ | 企画班 |
| 総括・調整班 |
| 情報収集管理Ｇ | 収集・確認・連絡班 | 府危機管理室 | １ |
| システム維持管理班 | 府危機管理室（委託業者） | １ |
| 測定分析Ｇ  (大阪府チーム) | 総括・連絡班 | 府危機管理室 | １ |
| 測定・採取班  （熊取町・泉佐野市域） | 府危機管理室 | １注１ | 熊取ＯＦＣ |
| 熊取町住民部環境課 | １注１ |
| 熊取町住民部美しいまちづくり推進課 | １注１ |
| 泉佐野市市長公室市民協働課 | １注１ |
| 泉州南広域消防本部 | １注１ |
| 測定・採取班  （東大阪市域） | 府危機管理室 | １注１ | 東大阪ＯＦＣ |
| 東大阪市危機管理室 | １注１ |
| 東大阪市消防局 | １注１ |
| 分析班 | 大阪府立公衆衛生研究所 | １注２ | 府立公衛研 |
| 測定分析Ｇ　(各原子力事業者チーム) | | 各原子力事業者 | ※注3 | 各事業所 |

注１　他地域の原子力事業所における事故の対応は原則として不要。必要に応じて、発災地域の援助を行う。

注２　原則として環境試料分析に備えての準備、連絡調整が主な業務。事故の進展等に応じて増員する。

注3　オンサイトモニタリングに必要な体制を原子力事業者毎に整備する。

（３）緊急事態及び原子力緊急事態

ア　構成機関及び派遣人数

緊急事態以降に設置される緊急時モニタリングセンター（ＥＭＣ）の構成機関及び派遣人数は表６のとおりとする。

表６　構成機関別モニタリング要員

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構　　　成　　　機　　　関 | | 派遣人数 |
| 原子力規制庁 | 長官官房放射線防護グループ監視情報課 | ３ |
| 大飯・高浜地方放射線モニタリング対策官事務所 | １ |
| 大阪府 | 危機管理室 | ６ |
| 危機管理室（委託業者） | １ |
| 府立公衆衛生研究所 | ２ |
| 熊取町 | 住民部環境課 | １ |
| 住民部美しいまちづくり推進課 | １ |
| 泉佐野市 | 市長公室市民協働課 | １ |
| 泉州南消防組合 | 泉州南広域消防本部 | １ |
| 東大阪市 | 危機管理室 | １ |
| 消防局 | １ |
| 関係指定公共機関 | 国立研究開発法人放射線医学総合研究所 | １４ |
| 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 |
| 京都大学原子炉実験所 | | ２注1 |
| 原子燃料工業(株)熊取事業所 | | ２注1 |
| 近畿大学原子力研究所 | | ２注1 |

注１　測定分析Ｇ原子力事業者チームの人数は含まない（表７参照）。

イ　各グループの要員構成

ＥＭＣの各グループの要員構成は表７のとおりとする。

なお、各原子力事業所については、非発災原子力事業所においても、発災原子力事業所の対応にあたるため、原則としてＥＭＣの緊急時モニタリングに参画することとする。

表７　ＥＭＣの各グループの構成要員等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担　当　Ｇ | | 所　　属 | 人数 | 活動場所 |
| センター長 |  | 長官官房放射線防護グループ  監視情報課放射線環境対策室長 | １ | 熊取ＯＦＣ  又は  東大阪ＯＦＣ注７ |
| センター長補佐 |  | 大飯・高浜地方放射線ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ対策官事務所長 | １ |
| 府危機管理室防災企画課長 | １ |
| 企画調整Ｇ注１ | 企画班 | 府危機管理室課長補佐 | １ |
| 各原子力事業者 | 各１ |
| 総括・調整班 | 長官官房放射線防護グループ監視情報課 | 1 |
| 関係指定公共機関 | 1 |
| 情報収集管理Ｇ注２ | 収集・確認班 | 長官官房放射線防護グループ監視情報課 | １ |
| 各原子力事業者 | 各１ |
| 関係指定公共機関 | １ |
| 連絡班 | 府危機管理室 | １ |
| システム維持管理班 | 府危機管理室（委託業者） | １ | 府環境放射線  監　 視　 室 |
| 測定分析Ｇ  (大阪府チーム)注３ | 総括・調整班 | 府危機管理室 | １ | 熊取ＯＦＣ  又は  東大阪ＯＦＣ注７ |
| 関係指定公共機関 | ３ |
| 測定・採取班  （熊取町・泉佐野市域） | 府危機管理室 | １注５ | 熊取ＯＦＣ |
| 熊取町住民部環境課 | １注５ |
| 熊取町住民部美しいまちづくり推進課 | １注５ |
| 泉佐野市市長公室市民協働課 | １注５ |
| 泉州南広域消防本部 | １注５ |
| 関係指定公共機関 | ６注５ |
| 測定・採取班  （東大阪市域） | 府危機管理室 | １注５ | 東大阪ＯＦＣ |
| 東大阪市危機管理室 | １注５ |
| 東大阪市消防局 | １注５ |
| 関係指定公共機関 | ３注５ |
| 分析班 | 府立公衆衛生研究所 | ２ | 府立公衛研 |
| 測定分析Ｇ　(各原子力事業所チーム)注４ | | 各原子力事業者 | ※注６ | 各事業所 |

　　注１　Ｇ長：大飯・高浜地方放射線モニタリング対策官事務所長

Ｇ長補佐：府危機管理室防災企画課長

　　注２　Ｇ長：熊取原子力規制事務所職員（収集・確認班）

　　注3　Ｇ長（大阪府チーム）：府危機管理室職員（総括・調整班）

注４　Ｇ長（各原子力事業所チーム）：各原子力事業所職員

注５　他地域の原子力事業所における事故の対応は原則として不要。但し、必要に応じて、発災地域、分析班等

を援助する。

注６　オンサイトモニタリングに必要な体制を原子力事業者毎に整備する。

注７　熊取町・泉佐野市域と東大阪市域が同時に発災した場合、国の指示の下、熊取ＯＦＣを中心に配備する。

４　構成機関への連絡体制

（１）情報収集事態

　　　府危機管理室は、発災原子力事業所から情報事象発生の情報を受信する等、情報収集事態の実施基準に至った場合、初期監視体制を設置するため、図１のとおり関係市町及び泉州南消防組合等へ要員の派遣を要請する。併せて、原子力事故現地警戒本部等へ初期監視体制の設置について情報提供を行うとともに、必要であれば支援・協力を要請する。

府危機管理室

**派遣要請**

熊取町住民部環境課

熊取町住民部美しいまちづくり推進課

泉佐野市市長公室市民協働課

泉州南広域消防本部

東大阪市危機管理室

東大阪市消防局

原子力現地警戒本部（熊取ＯＦＣ、東大阪ＯＦＣ）

**情報提供**

原子力事故警戒本部（原子力規制庁）

大飯・高浜地方放射線ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ対策官事務所

府内原子力事業所

府健康医療部健康医療総務課

府立公衆衛生研究所

図１　情報収集事態における構成機関への連絡系統

（２）警戒事態

　　　府危機管理室は、発災原子力事業所から警戒事象発生の通報を受信する等、警戒事態の実施基準に至った場合、大阪府モニタリング本部を設置するため、図３のとおり関係市町及び泉州南消防組合等へ要員の派遣を要請する。併せて、原子力現地警戒本部等へ大阪府モニタリング本部の設置について情報提供を行うとともに、必要であれば支援・協力を要請する。

府危機管理室

熊取町住民部環境課

**派遣要請**

熊取町住民部美しいまちづくり推進課

東大阪市消防局

東大阪市危機管理室

泉佐野市市長公室市民協働課

泉州南広域消防本部

府内原子力事業所

府立公衆衛生研究所

**分析準備・実施要請**

**測定開始要請**

**情報提供**

原子力現地警戒本部（熊取ＯＦＣ、東大阪ＯＦＣ）

原子力事故警戒本部（原子力規制庁）

大飯・高浜地方放射線ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ対策官事務所

府健康医療部健康医療総務課

図2　警戒事態における構成機関への連絡系統

（３）緊急事態及び原子力緊急事態

　　　熊取原子力規制事務所は、発災原子力事業所から特定事象を受信する等、緊急事態及び原子力緊急事態の実施基準に至った場合、緊急時モニタリングセンター（ＥＭＣ）を設置するため、図３のとおり府危機管理室及び関係市町等へ要員の派遣を要請する。併せて、原子力災害対策本部等へＥＭＣの設置について情報提供を行うとともに、必要であれば支援・協力を要請する。

原子力災害対策本部（内閣府、原子力規制庁）

各関係指定公共機関

**派遣要請**

大飯・高浜地方放射線ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ対策官事務所長

各原子力事業所

**派遣要請**

府危機管理室

熊取町住民部環境課

東大阪市消防局

泉佐野市市長公室市民協働課

泉州南広域消防本部

府立公衆衛生研究所

東大阪市危機管理室

**派遣要請**

熊取町住民部美しいまちづくり推進課

**分析実施要請**

**情報提供**

府健康医療部健康医療総務課

図３　警戒事態における構成機関への連絡系統

５　緊急時モニタリング用資機材等の整備

（１）測定資機材等

　　　国、大阪府等は、ＥＭＣ等の関係機関に表８のとおり測定資機材等を整備する。

表８　緊急時モニタリング用測定資機材等

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 測　定　機　器　名 | 配　備　場　所 | | | | | | | |
| 大阪府庁 | 熊取OFC | 熊取町役場 | 泉佐野市役所 | 泉州南消防組合 | 東大阪OFC | 東大阪市役所 | 東大阪市消防局 |
| 可搬型モニタリングポスト |  | ２ |  |  |  |  |  |  |
| 可搬型サンプラ（ローボリューム） |  |  | 2 |  |  |  |  |  |
| 可搬型サンプラ（ハイボリューム） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中性子線サーベイメータ | ２ | １ | 1 |  | 3 |  | 1 | 1 |
| NaI(Tℓ)シンチレーション式サーベイメータ | 11 | ３ | 3 |  | 3 |  | 2 | 1 |
| ZnS(Ag)シンチレーション式サーベイメータ | 11 | ３ |  |  |  |  |  |  |
| 電離箱式サーベイメータ | ７ | ３ | 1 |  | 3 |  |  | 1 |
| GM計数管式サーベイメータ  - 9- | 11 | ３ | 3 |  | 4 |  | 1 | 2 |
| 簡易サーベイメータ（日立アロカ製PDR -111等） |  |  |  |  | ６ |  |  |  |
| 蛍光ガラス線量計素子 | 50 |  |  |  |  |  |  |  |
| 電子式線量計（日立アロカ製PDM-112等） | 15 |  | 3 |  |  |  |  |  |
| 蛍光ガラス線量計計測装置 | １ |  |  |  |  |  |  |  |
| ゲルマニウム半導体検出器 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ＩＣＰ－質量分析計 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 測定資機材搬送車（モニタリング車両） |  |  | 1 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（２）防護用資機材等

- 9 -

　　　国、大阪府等は、ＥＭＣ等の関係機関に表９のとおり防護用資機材等を整備する。

表９　防護用資機材等

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 測　定　機　器　名 | 配　備　場　所 | | | | | | | |
| 大阪府庁 | 熊取OFC | 熊取町役場 | 泉佐野市役所 | 泉州南消防組合 | 東大阪OFC | 東大阪市役所 | 東大阪市消防局 |
| ポケット線量計（γ線用）（日立アロカ製ADM -112等） | ４０注１ |  | 6 | 23 | 38 |  | 24 | 59 |
| ポケット線量計（γ線+中性子線用）（日立アロカ製ADM -353B等） | ９ |  |  | 4 | 13 |  |  | 21 |
| 防護服（空気呼吸器内蔵型） |  |  |  |  | 21 |  | 17 |  |
| 防護服（布製）（タイベック） | ９８ |  | 12 | 90 | 385 |  | 80 | 420 |
| 防護服（防水）（PEコートタイベック） |  |  |  |  | 551 |  |  |  |
| 防護服（ドレーゲル） |  |  |  |  | 7 |  |  |  |
| 空気呼吸器 |  |  |  |  | 60 |  | 117 |  |
| 酸素呼吸器 |  |  |  |  | 3 |  |  |  |
| 空気ボンベ（４．７L）  - 10 - |  |  |  |  | 68 |  |  |  |
| 空気ボンベ（６．８L） |  |  |  |  | 32 |  | 132 |  |
| 空気ボンベ（９．１L） |  |  |  |  | 12 |  | 124 |  |
| 空気呼吸器マスク |  |  |  |  |  |  | 189 |  |
| 防護マスク（半面） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 防護マスク（全面） |  |  | 6 | 90 | 91 |  | 50 | 200 |
| ゴム手袋 |  |  | 1 | 96 | 164 |  | 80 | 420 |
| オーバーシューズ |  |  | 36 | 90 | 475 |  | 80 | 420 |
| ヘルメット |  |  |  |  |  |  |  |  |
| レインスーツ |  |  |  |  | 128 |  |  |  |
| 放射能防護ゴーグル |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 衛星携帯電話 |  |  |  |  | 1 |  |  |  |

　　注１　府立公衆衛生研究所分も含む。

６　緊急時モニタリングの測定項目等

（１）空間線量率

　　ア　固定観測局における連続測定

　　　　表10に示す固定観測局において空間線量率（γ線、中性子線）を連続測定する。

　　イ　可搬型モニタリングポスト、サーベイメータによる測定

　　　　事故の進展等に応じて、可搬型モニタリングポスト、サーベイメータにより空間線量率を測定する（詳細は以下の（７）参照）。

（２）積算線量

事故の進展等に応じて、表10に示す固定観測局等において測定する（詳細は以下の（７）参照）。

（３）大気浮遊じん中全α・全β放射能濃度

　　　表10に示す固定観測局のモニタリングステーションにおいて連続測定する。

（４）大気中放射性ヨウ素濃度

　　ア　固定観測局（モニタリングステーション）における連続測定

表10に示す固定観測局のモニタリングステーションにおいて連続測定する。

イ　可搬式サンプラによる試料採取

　　事故の進展等に応じて、可搬型サンプラにより大気中放射性ヨウ素を捕集し、サーベイメータにより濃度を測定する（詳細は以下の（７）参照）。必要に応じて、ゲルマニウム半導体検出器による分析も実施する。

（５）環境試料中のγ線放出各種濃度

　　ア　飲食物（水道水、農作物等）

　　　　「飲食物に係るスクリーニング基準（0.5µSv/h）」を超過した地域を中心に、緊急時モニタリング実施計画等に基づき飲食物を採取し、ゲルマニウム半導体検出器によりγ線放出核種の分析を実施する（詳細は以下の（７）参照）。

試料採取地点は、関係機関との調整の上、風向等の気象状況を考慮して選定する。水道水については、原則として浄水場や配水池等の水道施設から選定することとし、可能であれば、原水も併せて採取する。また、農作物の入手が困難な場合は、指標植物（キョウチクトウ等）を代替試料として選定する。

　　イ　土壌等

　　　　環境放射線の状況把握のため、土壌等の環境試料を採取し、ゲルマニウム半導体検出器によりγ線放出核種の分析を実施する（詳細は以下の（７）参照）。

　　　　試料採取地点は、関係機関との調整の上、風向等の気象状況、地形等を考慮して、固定観測局等の周辺に位置する公園やグランド等から選定する。

ウ　試料採取上の注意事項

　　　　コンタミ防止のため、測定分析Ｇ分析班の担当者は一試料毎にビニール手袋を交換することとし、使用済みのものは再使用しないよう指定のごみ箱に廃棄する。

また、測定分析Ｇ測定・採取班の担当者は、試料保管容器の口を密封し、容器に採取場所、採取日時、採取者氏名をマジックで記入の上、個別にポリ袋に封入する。可能であれば、現地あるいは各ＯＦＣ等において、サーベイメータによる簡易測定を実施した上で測定分析Ｇ分析班へ搬入する。このとき、分析班は、ポリ袋の外側に直接触れないように注意する。

（６）環境試料中ウラン濃度（原子燃料工業（株）熊取事業所の事故発生時）

　　ア　サーベイメータによる測定

　　　　事故に進展等に応じて、可搬型サンプラにより大気浮遊じんを捕集し、サーベイメータを用いて濃度を測定するとともに、他の環境試料中ウランのα線表面汚染密度をサーベイメータにより測定する（詳細は以下の（７）参照）。

イ　ＩＣＰ‐質量分析計による分析

　　　　正確な濃度を求める必要がある場合は、対象の環境試料を採取し、ＩＣＰ‐質量分析計により環境試料中ウラン濃度の分析を実施する。

（７）測定・分析方法（初期モニタリング）

固定観測局における監視項目以外の測定・分析項目について、原子力規制庁から緊急時モニタリング実施計画等によりモニタリング方針が示されるまでは、各施設の原子力防災対策重点区域境界付内の影響を把握する場合は表11から、区域圏外の影響を把握する場合は表12の各地点の中から、風向等を考慮して優先度の高い地点を調査対象として選定し、表13に記載の方法で測定・分析を行う。

表10　固定観測局

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 監視機関 |  | 地　点　名 | 監　視　項　目 | | | | | 位　置 | |
| 空間線量率 | | | 大　気 | | 北　緯 | 東　経 |
| γ線 | 中性子 | 積算線量 | 全α・β | ヨウ素 |
| 大阪府  危機管理室 | A01 | 大阪府熊取ＯＦＣ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度23分04秒 | 135度21分11秒 |
| A02 | 熊取町立西小学校 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分28秒 | 135度20分49秒 |
| A03 | 山の手台１号公園 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分32秒 | 135度21分27秒 |
| A04 | アトム共同保育園 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分12秒 | 135度21分22秒 |
| A05 | 熊取町立南小学校 | ○ |  | ○ |  |  | 34度22分50秒 | 135度21分31秒 |
| A06 | 熊取町役場 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分53秒 | 135度21分31秒 |
| A07 | 泉佐野市日根野浄水場 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度32分02秒 | 135度20分43秒 |
| A08 | 府立日根野高等学校 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分11秒 | 135度20分30秒 |
| A09 | 府立佐野支援学校 | ○ |  | ○ |  |  | 34度22分50秒 | 135度21分01秒 |
| A10 | 泉佐野市立日根野小学校 | ○ |  | ○ |  |  | 34度22分37秒 | 135度20分22秒 |
| A11 | 泉佐野市大池グランド | ○ |  | ○ |  |  | 34度22分33秒 | 135度21分18秒 |
| A12 | 近畿大学グランド | ○ |  | ○ | ○ | ○ | 34度38分44秒 | 135度35分27秒 |
| A13 | 東大阪市立上小阪小学校 | ○ |  | ○ |  |  | 34度38分59秒 | 135度35分15秒 |
| A14 | 近畿大学原子力研究所北 | ○ |  | ○ |  |  | 34度38分47秒 | 135度35分25秒 |
| A15 | 近畿大学原子力研究所南 | ○ |  | ○ |  |  | 34度38分44秒 | 135度35分24秒 |
| 京都大学  原子炉実験所 | B01 | 実験所・中央観測所 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分11秒 | 135度21分02秒 |
| B02 | 実験所・グラウンド南 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分05秒 | 135度20分59秒 |
| B03 | 坊主池・南岸 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分11秒 | 135度20分44秒 |
| B04 | 実験所・変電所 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分21秒 | 135度20分50秒 |
| B05 | 実験所・守衛棟 | ○ |  | ○ |  |  | 34度23分18秒 | 135度20分59秒 |
| 原燃工(株)  熊取事業所 | C01 | ＭＰ１ | ○ |  |  |  |  | 34度23分24秒 | 135度20分47秒 |
| C02 | ＭＰ２ | ○ |  |  |  |  | 34度23分26秒 | 135度20分44秒 |
| 近畿大学  原子力研究所 | D01 | 周辺監視区域内 | ○ |  | ○ |  |  | 34度38分58秒 | 135度35分13秒 |

表11　各原子力施設から原子力災害対策重点地域の境界付近における調査予定地点（初期モニタリング）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象施設注１ | | 地点名 | 測　定　可　能　項　目 | | | | | | 位置 | |
| 空間線量率 | | 放射能濃度注２ | | | | 北緯 | 東経 |
| γ線 | 中性子 | 大気 | 水道水  ・陸水 | 農作物等注３ | 土壌・底　質 |
| 京都大学  原子炉実験所 | D01 | 美熊台二丁目テニスコート東側 | ○ |  | ○ |  |  |  | 34度23分17秒 | 135度21分12秒 |
| D02 | 朝代西三丁目ゲートボール場 | ○ |  | ○ |  | ○ | ○ | 34度23分04秒 | 135度21分08秒 |
| D03 | 八重治北西側 | ○ |  | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度23分06秒 | 135度20分37秒 |
| D04 | 実験所グランド | ○ |  | ○ |  | ○ | ○ | 34度23分20秒 | 135度20分38秒 |
| D05 | 東和苑交差点付近歩道 | ○ |  | ○ | ○ |  |  | 34度23分27秒 | 135度20分56秒 |
| A07 | 泉佐野市日根野浄水場 | ○ |  | ○ | ○ |  | ○ | 34度32分02秒 | 135度20分43秒 |
| A09 | 大阪府立佐野支援学校 | ○ |  | ○ |  | ○ | ○ | 34度22分50秒 | 135度21分01秒 |
| 原燃工(株)  熊取事業所 | D06 | 馬谷池北側 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度23分33秒 | 135度20分28秒 |
| D07 | 五門西四丁目歩道 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度23分37秒 | 135度20分49秒 |
| D08 | 東和苑児童公園 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度23分30秒 | 135度21分05秒 |
| A01 | 熊取ＯＦＣ | ○ | ○ | ○ |  | ○ |  | 34度23分04秒 | 135度21分11秒 |
| A02 | 熊取町立西小学校 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度32分02秒 | 135度20分43秒 |
| A07 | 泉佐野市日根野浄水場 | ○ |  | ○ | ○ |  | ○ | 34度32分02秒 | 135度20分43秒 |
| 近畿大学  原子力研究所 | G01 | 近畿大学原子力研究所  北側市道（原研正門付近） | ○ |  | ○ |  |  |  | 34度38分59秒 | 135度35分13秒 |
| G02 | 近畿大学グランド西側 | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分57秒 | 135度35分15秒 |
| G03 | 近畿大学グランド南西側 | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分56秒 | 135度35分15秒 |
| G04 | 近畿大学工学部22号館屋上 | ○ |  | ○ |  |  |  | 34度38分57秒 | 135度35分11秒 |
| A14 | 近畿大学原子力研究所北 | ○ |  | ○ |  | ○ | ○ | 34度38分47秒 | 135度35分25秒 |
| A15 | 近畿大学原子力研究所南 | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分44秒 | 135度35分24秒 |

注1　測定分析G各原子力事業者チーム及び大阪府庁チームは、指示書、作業手順書等に基づいて、連携して対応する。

注２　分析項目　大　　気：放射線ヨウ素、必要に応じてウラン

　　　　　　　　大気以外：γ線放出核種、必要に応じてウラン

注３　農作物の入手が困難な場合は指標植物（キョウチクトウ等）を採取する。

表12　各原子力施設の原子力災害対策重点地域外における調査予定地点（初期モニタリング）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象施設注1 | | 地点名 | 測　定　可　能　項　目 | | | | | | 位置 | |
| 空間線量率 | | 放射能濃度注２ | | | | 北緯 | 東経 |
| γ線 | 中性子 | 大気 | 水道水  ・陸水 | 農作物等注３ | 土壌・底　質 |
| 京都大学  原子炉実験所  及び  原燃工(株)  熊取事業所 | E01 | 満池北側 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度23分52秒 | 135度20分20秒 |
| E02 | 築留池北側 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度23分43秒 | 135度21分03秒 |
| E03 | 長池オアシス | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度23分26秒 | 135度21分15秒 |
| E04 | 和田観測所 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度23分17秒 | 135度21分29秒 |
| E05 | 永楽ダム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度22分18秒 | 135度22分26秒 |
| E06 | 日根神社（大井関公園） | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度22分21秒 | 135度20分37秒 |
| E07 | 新池南側 |  |  |  | ○ |  |  | 34度22分31秒 | 135度20分30秒 |
| E08 | 質池西側 | ○ | ○ | ○ | ○ |  | ○ | 34度23分39秒 | 135度20分11秒 |
| A03 | 山の手台１号公園 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度23分32秒 | 135度21分27秒 |
| A04 | アトム共同保育園 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度23分12秒 | 135度21分22秒 |
| A05 | 熊取町立南小学校 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度22分50秒 | 135度21分31秒 |
| A08 | 府立日根野高等学校 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度23分11秒 | 135度20分30秒 |
| A10 | 市立日根野小学校 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | 34度22分37秒 | 135度20分22秒 |
| A11 | 泉佐野市大池グランド | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度22分33秒 | 135度21分18秒 |
| 近畿大学  原子力研究所 | H01 | 近畿大学11号館西側 | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度39分00秒 | 135度35分13秒 |
| H02 | 近畿大学グランド東側 | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分57秒 | 135度35分17秒 |
| H03 | 長瀬東団地 | ○ |  | ○ |  | ○ | ○ | 34度38分51秒 | 135度35分13秒 |
| H04 | 近畿大学工学部22号館南西側 | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分55秒 | 135度35分11秒 |
| H05 | 近畿大学原子力研究所  北側市道（15号館南西側） | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分59秒 | 135度35分11秒 |
| H06 | 上小阪配水場 | ○ |  | ○ | ○ | ○ | ○ | 34度39分07秒 | 135度35分33秒 |
| A12 | 近畿大学グランド | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分44秒 | 135度35分27秒 |
| A13 | 東大阪市立上小阪小学校 | ○ |  | ○ |  |  | ○ | 34度38分59秒 | 135度35分15秒 |

注1　測定分析G各原子力事業者チーム及び大阪府庁チームは、指示書、作業手順書等に基づいて、連携して対応する。

注２　分析項目　大　　気：放射線ヨウ素、必要に応じてウラン

　　　　　　　　大気以外：γ線放出核種、必要に応じてウラン

注３　農作物の入手が困難な場合は指標植物（キョウチクトウ等）を採取する。

表13　測定・分析方法（初動体制）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 測　定　項　目 | | 測定・分析方法 | |
| 方法 | 供試量 |
| 空間線  量率注1 | 可搬型モニタリングポスト | 測定法：原子力安全委員会「環境放射線モニタリング指針」に準拠  検出器：NaI(Tℓ)シンチレーション検出器（低線量率）  電離箱検出器（高線量率）  3He比例計数管検出器（中性子線量率） | ― |
| サーベイメータ | ― |
| 積　算  線量率 | 長期測定用 | 測定法：文科省測定法シリーズ27「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」に準拠  検出器：蛍光ガラス線量計素子（長期用）  電子式線量計（短期用） | ― |
| 短期測定用 | ― |
| ヨウ素 | 固定観測局 | 測定法：大阪府危機管理室「環境放射線監視計画書」及び文科省測定法シリーズ15「緊急時における放射性ヨウ素測定法」に準拠  検出器：NaI(Tℓ) シンチレーション検出器注２ | 50L/分で6時間  （約18m3） |
| 可搬型サンプラ | 50L/分で  10分～1時間程度  （約0.5～3m3程度） |
| γ線放出核種 | 水道水・陸水 | 試料採取法：文科省測定法シリーズ16「環境試料採取法」に準拠  前処理法：文科省測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠  測定法：文科省測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠 | 約２L |
| 農作物  （指標生物） | 約1～2kg生 |
| 土壌 | 約100g |
| 底質 | 約100g |
| ウラン | 土壌・底質 | 試料採取法：文科省測定法シリーズ16「環境試料採取法」に準拠  測定法：原子力安全委員会「環境放射線モニタリング指針」に準拠  検出器：ZnS(Ag) シンチレーション検出器注３ | ― |
| 大気浮遊じん | 測定法：原子力安全委員会「環境放射線モニタリング指針」に準拠  検出器：ZnS(Ag) シンチレーション検出器注３ | 500L/分で1時間  （約30m3） |

注１　原子燃料工業（株）熊取事業所における臨界事故発生時など、必要に応じて中性子線量率も測定する。

注２　正確な濃度を求める必要がある場合はゲルマニウム半導体検出器により分析する。

注３　正確な濃度を求める必要がある場合はICP-質量分析計により分析する（大阪府危機管理室「環境放射線監視計画書」に準拠）。

７　緊急時モニタリングの実施

（１）情報収集事態における環境放射線モニタリング

情報収集事態発生後において、初期監視体制は表14のとおり環境放射線モニタリングを実施する。

表14　情報収集事態における環境放射線モニタリング

|  |  |
| --- | --- |
| 実施項目 | 内　　容 |
| 固定観測局等の確認 | 情報収集管理Gは、環境放射線テレメータシステムを通じて固定観測局及び情報共有システム等の機器等の点検を行う。異常がある場合、測定分析G測定・採取班は、当該固定観測局の点検確認を実施する。 |
| 固定観測局による測定 | 測定分析G監視班は、固定観測局のモニタリングデータを監視する。 |
| 可搬型モニタリングポスト等による測定 | 測定分析G測定・採取班は、必要に応じて、可搬型モニタリングポスト、サーベイメータ、電子式線量計等により空間線量率を測定する。 |

（２）警戒事態における環境放射線モニタリング

　　　警戒事態発生後において、大阪府モニタリング本部は表15に記載のとおり環境放射線モニタリングを実施する。

表15　警戒事態における環境放射線モニタリング

|  |  |
| --- | --- |
| 実施項目 | 内　　容 |
| 固定観測局等の確認 | 情報収集管理Gは、環境放射線テレメータシステムを通じて、固定観測局及び情報共有システム等の機器等の点検を行う。異常がある場合、測定分析G測定・採取班は、当該固定観測局の点検確認を実施する。 |
| 固定観測局による測定強化 | 測定分析G総括・連絡・監視班は、固定観測局のモニタリングデータの監視を強化する。 |
| 可搬型モニタリングポスト等による測定 | 測定分析G測定・採取班は、必要に応じて、可搬型モニタリングポスト、サーベイメータ、電子式線量計等により空間線量率を測定する。 |
| 排気筒モニタ、放水口モニタの監視強化 | 各原子力事業者の測定分析Gは、排気筒モニタ及び排水口モニタの監視を強化する。 |
| 大気中放射性ヨウ素濃度の測定準備 | 測定分析G総括・連絡・監視班は、環境放射線テレメータシステムの測定条件を設定する。活性炭カートジッリが不足している場合は、測定分析G測定・採取班は活性炭カートリッジを補充する。 |
| 環境試料中ウラン濃度等の測定準備（原燃工の事故発生時） | 測定分析G測定・採取班は、大気浮遊じん中ウラン濃度及び環境試料中ウランのα線表面密度の測定に備えて、必要な資機材を準備する。 |

（３）緊急事態における初期モニタリング

　　　緊急事態において、ＥＭＣは表16に記載のとおり緊急時モニタリング（初期モニタリング）を実施する。

表16　緊急事態における初期モニタリング

|  |  |
| --- | --- |
| 実施項目 | 内　　容 |
| 固定観測局による測定強化継続 | 測定分析G総括・連絡・監視班は、固定観測局のモニタリングデータの監視強化を継続する。必要に応じて、測定分析Ｇ測定・採取班は、固定観測局の巡回及び電子式線量計等による測定を行う。 |
| 可搬型モニタリングポスト等による測定 | 測定分析G測定・採取班は、可搬型モニタリングポスト、サーベイメータ、電子式線量計等により空間線量率を測定する。 |
| 排気筒モニタ、放水口モニタの監視強化継続 | 各原子力事業者の測定分析Gは、排気筒モニタ及び排水口モニタの監視強化を継続する。 |
| 大気中放射性ヨウ素濃度の測定 | 測定分析G総括・連絡・監視班は、環境放射線テレメータシステムにより、ヨウ素の自動測定を開始する。更に、可搬型サンプラ及びサーベイメータを用いた測定も実施する。 |
| 環境試料中ウラン濃度等の測定（原燃工の事故発生時） | 測定分析G測定・採取班は、可搬型サンプラ及びサーベイメータを用いて大気浮遊じん中ウラン濃度を測定する。又、他の環境試料については、α線表面汚染密度を測定する。なお、正確な濃度を求める必要がある場合は、採取した試料を協力事業者等へ搬送する。 |

（４）原子力緊急事態における初期モニタリング

　　　原子力緊急事態において、ＥＭＣは表17のとおり緊急時モニタリング（初期モニタリング）を実施する。

表17　原子力緊急事態における初期モニタリング

|  |  |
| --- | --- |
| 実施項目 | 内　　容 |
| 固定観測局による測定強化継続 | 測定分析G総括・連絡・監視班は、固定観測局のモニタリングデータの監視強化を継続する。必要に応じて、測定分析Ｇ測定・採取班は、固定観測局の巡回及び電子式線量計等による測定を行う。 |
| 可搬型モニタリングポスト等による測定 | 測定分析G測定・採取班は、可搬型モニタリングポスト、サーベイメータ、電子式線量計等により空間線量率を測定する。 |
| 排気筒モニタ、放水口モニタの監視強化継続 | 各原子力事業者の測定分析Gは、排気筒モニタ及び排水口モニタの監視強化を継続する。 |
| 大気中放射性ヨウ素濃度の測定 | 測定分析G総括・連絡・監視班は、環境放射線テレメータシステムにより、ヨウ素の自動測定を開始する。更に、可搬型サンプラ及びサーベイメータを用いた測定も実施する。必要に応じて、可搬型サンプラで採取した大気試料を測定分析G分析班へ搬送する。測定分析G分析班はGe半導体検出器で分析する。 |
| 環境試料中ウラン濃度等の測定（原燃工の事故発生時） | 測定分析G測定・採取班は、可搬型サンプラ及びサーベイメータを用いて大気浮遊じん中ウラン濃度を測定する。又、他の環境試料については、α線表面汚染密度を測定する。なお、正確な濃度を求める必要がある場合は、採取した試料を協力事業者等へ搬送する。 |
| 環境試料、農作物等中γ線放出核種濃度の分析 | 企画調整G総括・調整班は、地主、生産者等と私有地内での環境試料の採取、農作物等の提供等について、必要に応じて協議・調整する。  測定分析G測定・採取班は、試料を受取・採取し、測定分析G分析班へ搬送する。測定分析G分析班はGe半導体検出器で分析する。 |
| 環境試料（土壌等）中γ線放出核種濃度の分析 | 測定分析G測定・採取班は、試料を採取し、測定分析G分析班へ搬送する。測定分析G分析班はGe半導体検出器で分析する。 |

（５）原子力緊急事態における中期モニタリング

　　　今後、原子力規制庁の検討結果を踏まえて記載する。

（６）全面緊急事態における復旧期モニタリング

　　　今後、原子力規制庁の検討結果を踏まえて記載する。

８　モニタリングの指示

（１）情報収集事態

リーダー兼企画調整Ｇは、情報収集管理Ｇに対して、放射線監視テレメータシステムによる機器異常の有無の確認を指示するとともに、測定分析Ｇ監視班に対して、放射線監視テレメータシステムによるモニタリングデータの監視を指示する。測定分析Ｇ測定・採取班は、固定観測局に異常が認められた場合、固定観測局の点検確認を実施する。

（２）警戒事態

　　　副本部長兼企画調整Ｇは、環境放射線モニタリングの強化案を定め、本部長の了解を得た上で、情報収集管理Ｇ収集・確認・連絡班を通じて、測定分析Ｇへモニタリングを指示する。この際、必要に応じて、大阪府環境放射線評価専門委員会、地方放射線モニタリング対策官等の専門家に対して指導・助言を求める。

　　　各測定分析Ｇの測定・採取班の代表者は、副本部長兼企画調整Ｇの指示に基づき、固定観測局の巡回及び可搬型モニタリングポストの設置のための班編成を決定し、各々の担当へ指示する。

（３）緊急事態及び原子力緊急事態

　　　企画調整Ｇ企画班は、緊急時モニタリング実施計画の内容に沿って指示書及び作業手順書を作成し、センター長の了解を得た上で、情報収集管理Ｇ連絡班を通じて、測定分析Ｇ（大阪府チーム及び原子力事業者チーム）の各班へモニタリングを指示する。

９　モニタリング結果の公表

（１）情報収集事態

　　　府防災・危機管理警戒本部又は防災・危機管理司令部は、リーダー兼企画調整Ｇから報告を受けた平常時モニタリング結果について、必要に応じてホームページ等で公表する。この際、必要に応じて、大阪府環境放射線評価専門委員等の専門家に対して指導・助言を求める。

（２）警戒事態

　　　府災害対策本部又は防災・危機管理警戒本部は、副本部長兼企画調整Ｇから報告を受けた平常時モニタリング結果について、必要に応じてホームページ等で公表する。この際、必要に応じて、大阪府環境放射線評価専門委員等の専門家に対して指導・助言を求める。

（３）緊急事態及び原子力緊急事態

　　　企画調整Ｇ総括・調整班は、原子力事故対策本部又は原子力災害対策本部の公表データを、原子力事故現地対策本部又は原子力災害現地対策本部を通じて速やかに入手し、緊急時モニタリング結果を併せて府及び関係市町の災害対策本部へ提供する。

　　　府及び関係市町の災害対策本部は、国と調整の上、緊急時モニタリング結果等について、必要に応じてホームページ等で公表する。

10　モニタリング要員の被ばく管理等

（１）被ばく管理

大阪府モニタリング本部及びＥＭＣの各構成機関は、モニタリング要員へ被ばく線量を管理するため、測定分析Ｇ測定・採取班等の要員に個人被ばく線量計を配付する。活動後、各測定分析Ｇの測定・採取班の代表者は、各要員の積算線量を取りまとめ、企画調整Ｇ総括・調整班へ報告する。

（２）被ばく管理基準

　　　府のモニタリング要員の被ばく管理基準は表18のとおりとする。

　 　表18　モニタリング要員の被ばく管理基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 基　準 | 基準値 | 備　考 |
| 日管理基準値 | 10 mSv | 1日の累計がこの値以上となった場合は、その日は被ばくの可能性のある場所での緊急時モニタリング活動を中止する。 |
| 累積管理基準値 | 50 mSv | 累積がこの値に達した場合、あるいはこの値を達するおそれがあるときは、被ばくの可能性のある場所において緊急時モニタリング活動に従事することを禁止する。 |

（３）モニタリング要員の防護措置

放射性物質による汚染又はそのおそれのある場所においてモニタリング活動を行う要員に対して、以下のとおりモニタリング要員の被ばく防護措置を実施する。

ア　防護服等の着用

大阪府モニタリング本部及びＥＭＣの各構成機関は、モニタリング要員に対して、出動時に防護服、防護マスク等の着用を指示する。

イ　ヨウ素剤の携行及び服用

　　　　放射性ヨウ素による内部被ばくのおそれがある場合、大阪府モニタリング本部及びＥＭＣの各構成機関は、モニタリング要員に対して、ヨウ素剤の携行を指示する。なお、服用の指示は原子力災害対策本部等が出す。

ウ　モニタリング要員の汚染検査

　　　　モニタリング活動を終えたモニタリング要員は、各ＯＦＣ又は各原子力事業所において汚染検査を実施する。

　　　　放射性ヨウ素が検出された地域において活動したモニタリング要員については、甲状腺被ばく検査も併せて実施する。

　　エ　資機材の汚染検査

　　　　モニタリング要員は、現場に携行した資機材の汚染検査を実施する。

　　オ　汚染が検出された場合の措置

　　　　モニタリング要員及び資機材から汚染検査の結果、４Bq/cm2以上の全β放射能濃度を検出した場合、除染措置を行う等、汚染の拡大防止に努める。



**D05**

【固定観測局】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 測　　定　　地　　点 | | | |
| 大阪府危機管理室 | 熊取町地域 | A01 | 熊取OFC |
| A02 | 熊取町立西小学校 |
| A03 | 山の手台１号公園 |
| A04 | アトム共同保育園 |
| A05 | 熊取町立南小学校 |
| A06 | 熊取町役場 |
| 泉佐野市地域 | A07 | 泉佐野市日根野浄水場 |
| A08 | 大阪府立日根野高等学校 |
| A09 | 大阪府立佐野支援学校 |
| A10 | 泉佐野市立日根野小学校 |
| A11 | 泉佐野市大池グランド |
| 京 大  原子炉実験所 | | B01 | 実験所・中央観測所 |
| B02 | 実験所・グランド南 |
| B03 | 坊主池 |
| B04 | 実験所・変電所 |
| B05 | 実験所・守衛棟 |
| 原燃工 | | C01 | MP1 |
| C02 | MP2 |

【施設から５００ｍ付近における調査予定地点】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 測　　定　　地　　点 | | |
| 京 大  原子炉  実験所 | D01 | 美熊台二丁目テニスコート東側 |
| D02 | 朝代西三丁目ゲートボール場 |
| D03 | 八重治池北西側 |
| D04 | 実験所グランド |
| D05 | 東和苑交差点付近歩道 |
| A07 | 泉佐野市日根野浄水場 |
| A09 | 大阪府立佐野支援学校 |
| 原燃工 | D06 | 馬谷池北側 |
| D07 | 五門西四丁目歩道 |
| D08 | 東和苑児童公園 |
| A01 | 熊取OFC |
| A02 | 熊取町立西小学校 |
| A07 | 泉佐野市日根野浄水場 |

【施設から５００ｍ以遠における調査予定地点】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 測　　定　　地　　点 | | |
| 京 大  原子炉  実験所  及び  原燃工 | E01 | 満池北側 |
| E02 | 築留池北側 |
| E03 | 長池オアシス |
| E04 | 和田観測所 |
| E05 | 永楽ダム |
| E06 | 日根神社（大井関公園） |
| E07 | 新池南側 |
| E08 | 質池西側 |
| A03 | 山の手台１号公園 |
| A04 | アトム共同保育園 |
| A05 | 熊取町立南小学校 |
| A08 | 大阪府立日根野高等学校 |
| A10 | 泉佐野市立日根野小学校 |
| A11 | 泉佐野市大池グランド |

**D03**

**D06**

大阪観光大

**E06**

**E02**

**別図１－１　緊急時モニタリング調査予定地点（熊取町・泉佐野市域）**

熊取駅

**E08**

**E07**

**E05**

**E04**

**E03**

**E01**

：調査予定地点（５００ｍ以遠）

**D08**

**D07**

**原燃工(株)**

**熊取事業所**

**D04**

**D02**

**D01**

**C02**

**C01**

**B05**

**B04**

**B03**

**B02**

**B01**

**京大原子炉実験所**

：調査予定地点（５００ｍ付近）

：原燃工固定観測局

：京大固定観測局

：府固定観測局

五門東

**A04**

朝代東

**A01**

**熊取OFC**

朝代西

長池

**A05**

大久保

**A08**

©2013 ZENRIN CO., LTD. Z14BC第734号

上之郷公園

泉佐野市

東上公園

大池公園

日根野

市立新池中

市立上之郷小

上之郷

熊取歴史公園

八幡池青少年広場

熊取町

町立町民グラウンド

町立熊取南中

町立東小

町立熊取中

町立北中

町立北小

（旧）国道170号

町立中央小

野田

関西医療大

大宮

大久保中

国道170号

府道土丸栄線

**A02**

**A09**

**A11**

**A10**

**A07**

**A06**

**A03**

和田

土丸

つばさが丘東

つばさが丘西

つばさが丘北

成合南

成合西

野田

大阪体育大

大体大浪商高・中

久保

大久保南

美熊台

五門西

山の手台

紺屋

関西空港自動車道

府道大阪和泉泉南線

府道泉佐野打田線

阪和自動車道

JR阪和線

日根野駅

200m



**H05**

**別図１－２　緊急時モニタリング調査予定地点（東大阪市域）**

：調査予定地点（５０ｍ以遠）

：近大固定観測局

**F01**

：府固定観測局

**H06**

**H04**

**H03**

**H02**

**H01**

**G04**

**近畿大学**

**原子力研究所**

**G03**

**G02**

**G01**

【固定観測局】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 測　　定　　地　　点 | | |
| 大阪府危機管理室 | A12 | 近畿大学グランド |
| A13 | 東大阪市立上小阪小学校 |
| A14 | 近畿大学原子力研究所北 |
| A15 | 近畿大学原子力研究所南 |
| 近大  原研 | F01 | 施設内ポスト |

【施設から５０ｍ付近における調査予定地点】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 測　　定　　地　　点 | | |
| 近大  原研 | G01 | 近畿大学原子力研究所北側市道（原研正門付近） |
| G02 | 近畿大学グランド西側 |
| G03 | 近畿大学グランド南西側 |
| G04 | 近畿大学工学部22号館屋上 |
| A14 | 近畿大学原子力研究所北 |
| A15 | 近畿大学原子力研究所南 |

【施設から５０ｍ以遠における調査予定地点】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 測　　定　　地　　点 | | |
| 近大  原研 | H01 | 近畿大学11 号館西側 |
| H02 | 近畿大学グランド東側 |
| H03 | 長瀬東団地 |
| H04 | 近畿大学工学部22号館南西側 |
| H05 | 近畿大学原子力研究所北側市道（15 号館南西側） |
| H06 | 上小阪配水場 |
| A12 | 近畿大学グランド |
| A13 | 東大阪市立上小阪小学校 |

上小阪配水場

**A15**

©2013 ZENRIN CO., LTD. Z14BC第734号

東大阪市

近江堂ﾘｰｼﾞｮﾝｾﾝﾀｰ

近江堂

樟蔭東短大

・高・中

：調査予定地点（５０ｍ付近）

中小阪

**A14**

**A13**

**A12**

**東大阪オフサイトセンター**

100m

小若江

南上小阪

新上小阪

若江西新町

東上小阪

上小阪

宝持

東大阪市

第二寝屋川

近畿自動車道

大阪中央環状線

（旧）大阪中央環状線

府道大阪東大阪線

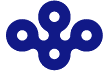
市立小阪中

八戸の里公園

府立布施工科高

近大附高・中

近畿大学・短大



**大阪府**

政策企画部危機管理室防災企画課　　　　　　　　　　　　平成27年６月発行

〒540-8570　大阪市中央区大手前3-1-43　新別館北館3階

TEL 06-6944-6287

FAX 06-6944-6654

URL http://www.o-ems.pref.osaka.jp/pc/